

理科の学びが仕事に生かされていること



小学校のときの「消化」の学習は今でも役に立っています。口から取り入れられた食べ物は、まず歯でかみくだかれて、だ液とともに食道から胃へと運ばれ、消化されていきます。歯が健康でないと、かみくだけないものがあるため、胃に送られたときに消化できないことがあり、胃を悪くする原因にもなります。消化の入り口である歯を大事にすることは、体の他の部分を大事にすることにもつながると患者さんに説明しています。

実は小学校のときは生き物が苦手で動物にさわれませんでした。また、人体模型なども嫌いでした。人の役に立ちたいと思い、歯科医を目指すようになってから、苦手なことを少しずつ克服していきました。

大人になってみて、小学生のときの学習が今につながっているなど感じることもあります。

